

# 令和元年台風19号利根川洪水に想う

## 金尾理事長による講演

～ 第73回利根川治水同盟治水大会 ～

8月4日にライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市)において、第73回利根川治水同盟治水大会が開催され、金尾理事長より「令和元年台風19号利根川洪水に想う」と題した講演を行いました。

金尾理事長は、利根川における台風19号の出水の状況、渡良瀬遊水地並びに田中、菅生及び稲戸調節池における台風19号による洪水の貯留状況、平成27年9月の関東・東北豪雨による利根川における洪水被害の状況や利根川沿川にある自然災害伝承碑など治水の歴史を紹介し、利根川における治水事業が長年にわたり着実に進められてきたことを説明しました。

さらに、草木ダムにおける台風19号の対応について、洪水に備えて利水容量の事前放流を実施することで水位を下げ、ダムへの流入量ピーク時に洪水調節容量を超える量の貯留を可能としたことで異常洪水時防災操作(緊急放流)を回避した対応についての説明ほか、機構における長時間アンサンブル予測を用いた最新のダム流入量予測に関する取組などを紹介しました。

最後に「台風19号のような豪雨は、当分は来ないだろうという保障は全くありません。そのため台風19号やそれをを超える出水がやってくるかもしれないということを肝に銘じて、待ったなしで利根川治水の処方箋を示さなければならないと感じています。」として講演を締めくくりました。

